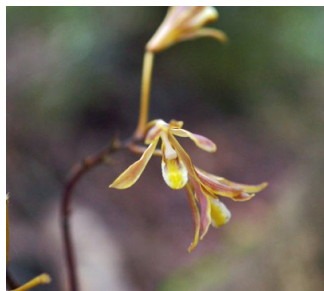


MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第32号 2013年7月

もくじ

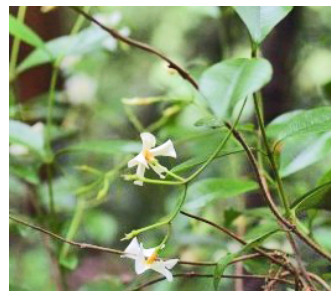
巻頭言「土地の恵みを活かす」	泉 浩二
エコアクション21普及活動(2)	倉光 康夫
今年的环境寄席	林家カレー子
第9回全国河川水質調査(神田川)報告	井田 秀明
新入会員紹介	加納 啓有
地域情報誌「たまら・び」のプロジェクト	中西 由美子



ムヨウラン



子どもが遊ぶ水辺(神田川)



テイカカズラ

巻頭言 土地の恵みを活かす

泉 浩二

「自然の恵みを活かす」取組として我が家では、太陽光発電で使用量の140%を発電と、屋根のガラス集熱面等からの太陽熱(温水と温風利用)とでガス、灯油の20%以上が節約できたと思われます。またトイレには井戸水を利用し水道使用量を約20%削減しました。生ごみは庭に埋めて100%自家処理することにより市の回収・焼却処分をしないで済んでいます。

これらの取組を行ってみると土地の恵みの意外なほどの大きさに驚かされます。その為に使用している面積はいずれも1人当たり5㎡以下の面積で、しかも発電と太陽熱は屋根利用によるものなので土地を占有しているわけではありません。土地にもたらされる太陽と雨と土壌の恵みは相当の大きさで私たちの生活を支えてくれることがわかります。これらの取り組みの他に、庭で、野菜、果樹、草花等を育てわずかながらも自給しています。

衣食住等を支えるために、その大部分を国内は言うに及ばず海外の土地の恵みに依存する日本の都市に住む市民として、広域での取組として、各地の自然エネルギー・森林事業へのグリーン投資、グリーン購入などを行っています。グローバルな視点も入れた、持続可能性・公平性を測る「エコロジカル・フットプリント指標(人間の消費活動が地球環境に与えている負荷を土地・水域面積で表す指標)」によるライフスタイルの見える化を含めた取組を、これからも実践してゆきたいと考えています。

最近のフットプリント分析によると、世界の人々が日本人のような暮らしをすると地球2.3個分が必要となるとされています。世界を見渡すと、先進国の過剰消費と途上国の貧困を映した大きな格差があります。この格差を是正し、日本、世界に目を向け、「自然の恵みの分かち合い」を通して「ともに生きる地球; 地球1個分の暮らし」を目指したいものです。

エコアクション21普及活動（2）

倉光 康夫

エコアクション21とは

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境への取り組みを行うことが必要です。エコアクション21とは、広範な企業、学校、公共機関等の全ての事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価する環境経営システムを構築、運用、維持するとともに、社会との環境コミュニケーションを行うための方法として環境省が策定したガイドラインです。

エコアクション21の3つの特徴

1. エコアクション21では、事業者の環境への取組を促進するとともに、その取組を効果的・効率的に実施するため、国際標準化機構のISO14001規格を参考としつつ、中小事業者にとっても取り組みやすい環境経営システムのあり方を規定しています。
2. この環境経営システムを構築、運用、維持することにより、環境への取組の推進だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上等、経営面でも効果があります。

ガイドラインは取り組みを分かりやすく記載しているため、環境パフォーマンスが向上します。

3. 環境への取り組みの結果を「環境活動レポート」としてまとめ、公表します。

エコアクション21認証・登録制度とは

エコアクション21に自主的・積極的に取り組み、ガイドラインで規定している環境経営システム及び環境活動レポートの要求事項を満たす事業者に対し、第三者が一定の評価を与える制度としてエコアクション21の認証・登録制度が実施されています。

普及活動

当協議会の会員は、認証・登録制度の運営組織である一般財団持続性推進機構エコアクション21中央事務局施策の「自治体イニシアティブ・プログラム」を推進していくため、各自治体（市、区）の協力を得て、事業者に認証のための研修会を実施しています。今回はこの研修会の模様を紹介します。

今年の環境寄席

林家 カレー子

大きな笑いと弾ける笑顔！そこにながれる安心感と温かい空気。私が、“笑いは最高の、クリーンエネルギー”を、強く確信できる、瞬間であります。

会が重なり、今年は25回の節目を迎えました、「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」様より、牛乳パックの、リサイクルで作った、トイレットペーパー500個を頂き、先着順にプレゼント。来場数は、昼夜で555名！粗品を全員に手渡せ、嬉しいアピールにもなりました（空バック100枚）。エコチケットでの入場者は約40名！枚数にして4000枚、トイレットペーパー666個の保全に繋がりました。



“思いは地球規模で、行動は足元から”環境問題解決の一步は“一手間懸ける心がけ”また、“継続が力！”これからも笑いと共に、足元の活動を一步一步、進めて参ります。

第9回全国河川水質調査（神田川） 報告

井田 秀明

「身近な水環境の全国一斉調査」（全国水環境マップ実行委員会 事務局：みずとみどりの研究会）として、ボランティアグループ等が地元河川の水質を年1回調査し、全国水質マップを作成しています。今年度の調査は平成25年6月2日（日）に全国約1000の市民団体が6500箇所で行われました。

この調査には武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会から神田川水系（担当：糸井、保坂、渥美、井田、倉光）に毎年参加しています。ここでは、私たちが参加した神田川水系についての報告を行います。

出かける際には雲が低く雨が落ちてきそうでしたが、測定を始める頃には明るくなってきました。今年も源流から丸山橋までの4か所を倉光さんをリーダーに渥美さんと私の3名で、神田橋から高井戸橋までの4か所を糸井さん、せせらぎ橋、新道橋及び辰巳橋を保坂さんが担当しました。その他の測定場所は神田川ネットワークの方が測定されました。グラフは今年（平成25年）と昨年（平成24年）の測定結果です。

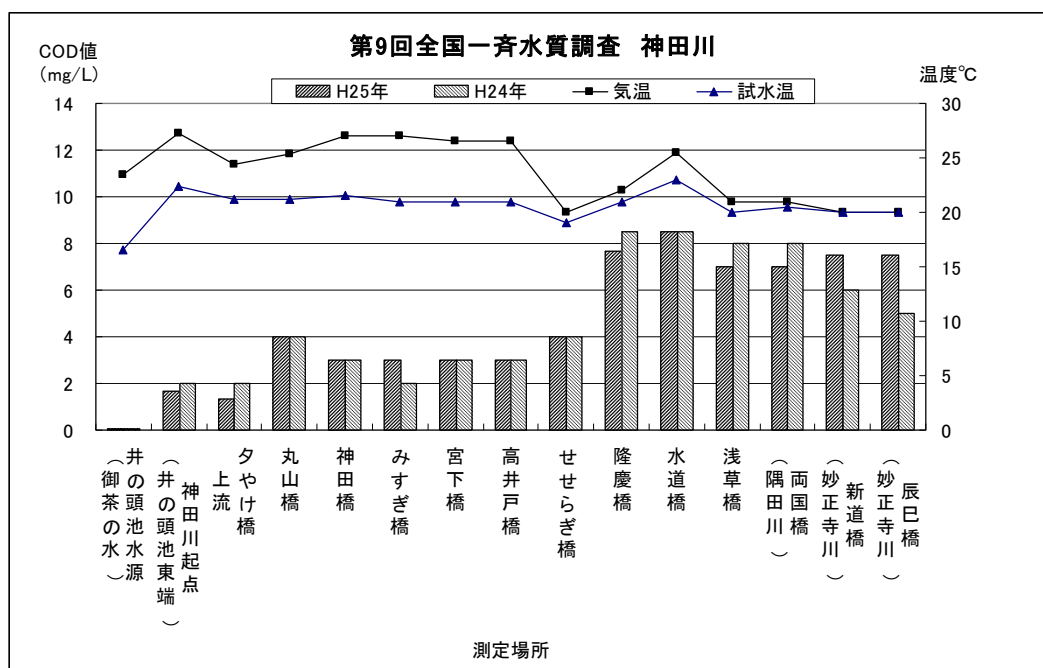
井の頭池水源は井戸水を汲み上げているのでゼロ（図は測定有の説明に微量表示）ですが、神田川起点から夕焼け橋までは子供達が川あそびをしています。丸山橋からは3～4mg/Lですが、隆慶橋、水道橋付近が8mg/L以上で最も汚れていて、その後はわずかに下がっています。全体としては昨年同様でした。

川の様子は夕やけ橋から丸山橋の間で植物は川幅いっぱいにつっていました。昨年観察された青大将は発見できませんでした。なお、平成19年度以降の全国調査地点の全データが次のホームページに掲載されているので、ご覧ください。

<http://www.japan-mizumap.org/>



採水の様子



新 会 員 紹 介

かのう ひろもと
＜加納 啓有さん＞



北海道帯広市出身
1970年上京、運送
業を経て1993年廃棄
物処理会社に入社、

以来20年間廃棄物
減量とリサイクルシス
テム構築に取り組んでき
ました。

20年前にはリサイク
ルと言う考え方も余り

無く、ゴミを捨てるのにどうしてお金が必要なの、と
言う時代でしたが、この数年広くリサイクルの必要性
は認識されてきたと感じています。只、短期間で変
わったため法改正が頻繁に行われ、非常に分り難
い法律になってしまい、尚且つ排出者責任はしっ
かり求められるようになり、排出者は混乱しているの
が現状です。私の役目は分り難い法律を制定の理
由や目的を誰でも理解できる言葉に置き換えて紹介
し、少しでもお役に立てればと考えています。その
為にも環境カウンセラーの諸先輩のご指導・ご助言
を頂きながら前進していきたいと思っています。

地域情報誌 「たまら・び」 のプロジェクト

中西 由美子

多摩信用金庫が企画する地域情報誌「たまら・び」
は、多摩地域における地域情報誌で、創刊から15年
がたちました。今年度のリニューアル号から、新し
い制作方法を取り込み、「まちの未来プロジェクト」
として、市民、事業者、NPO、地方公共団体等の地域
の多様なステークホルダーが、共にまちの魅力や未
来を語り合い、この制作を通してつながり合う仕組
みを採用しています。市民ライターが定期的に編集
会議に集まり、話し合いを通じてその市の魅力を伝
える情報誌を作っていくというものです。リニュー
アル第1号は小平市の情報誌でした。現在、日野市
でも編集会議が開始されており、日野市民の私も6
月上旬に参加しました。日野のことをよく知ってい
る市民が集まって、日野のウリになるような魅力的
な自然、まちなみ、歴史スポットや人物などをを
次々と挙げていきました。引き続きこのように会議
を継続しながら記事が執筆されていきます。

このプロジェクトには、この情報誌を編集・発売
するけやき出版も関わっていますが、地元の企業が、
まちの多方面の人同士のつながりを創出し、活性化
につなげるプロジェクトを試みていくことは素晴ら
しいことだと思います。これからもこの活動に協力
し、日野市版の出版の日を迎えられるように努力し
たいと考えています。



編集会議の様子

発行者：NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局
180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 3-31-16 糸井守
TEL：0422-45-0352 FAX：0422-45-0353
ホームページ：http://www.mecc.or.jp/
編集者：中西由美子